

三浦の地層



三浦市教育委員会

中学校理科副読本『三浦の地層』発刊によせて

今^{みな}皆さんが住んでいる三浦市^{みうらし}は面積約31km²で43kmの海岸線に三方を囲まれています。県内でも有数の観光地として知られており、休日には各地から多くの観光客が^{おとず}訪れ、四季折々の三浦^{みうら}の自然の中で海水浴をしたり釣り^つをしたりみかん狩^がりを楽しんだりする^{すがた}姿を見かけることがあると思います。

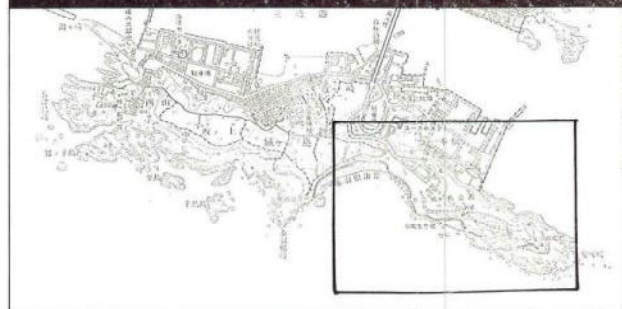
台地や数多くの港や海岸線はどのようにして形づくられたのでしょうか。

三浦市の台地は数百万年前から堆^{たいせき}積した土によってできています。百万年という時間はどれだけの時間でしょうか、想像できるでしょうか。まさに、気の遠くなるような時間をかけて、^{わたくし}私たちの生活の舞台^{ぶたい}ができあがったということです。

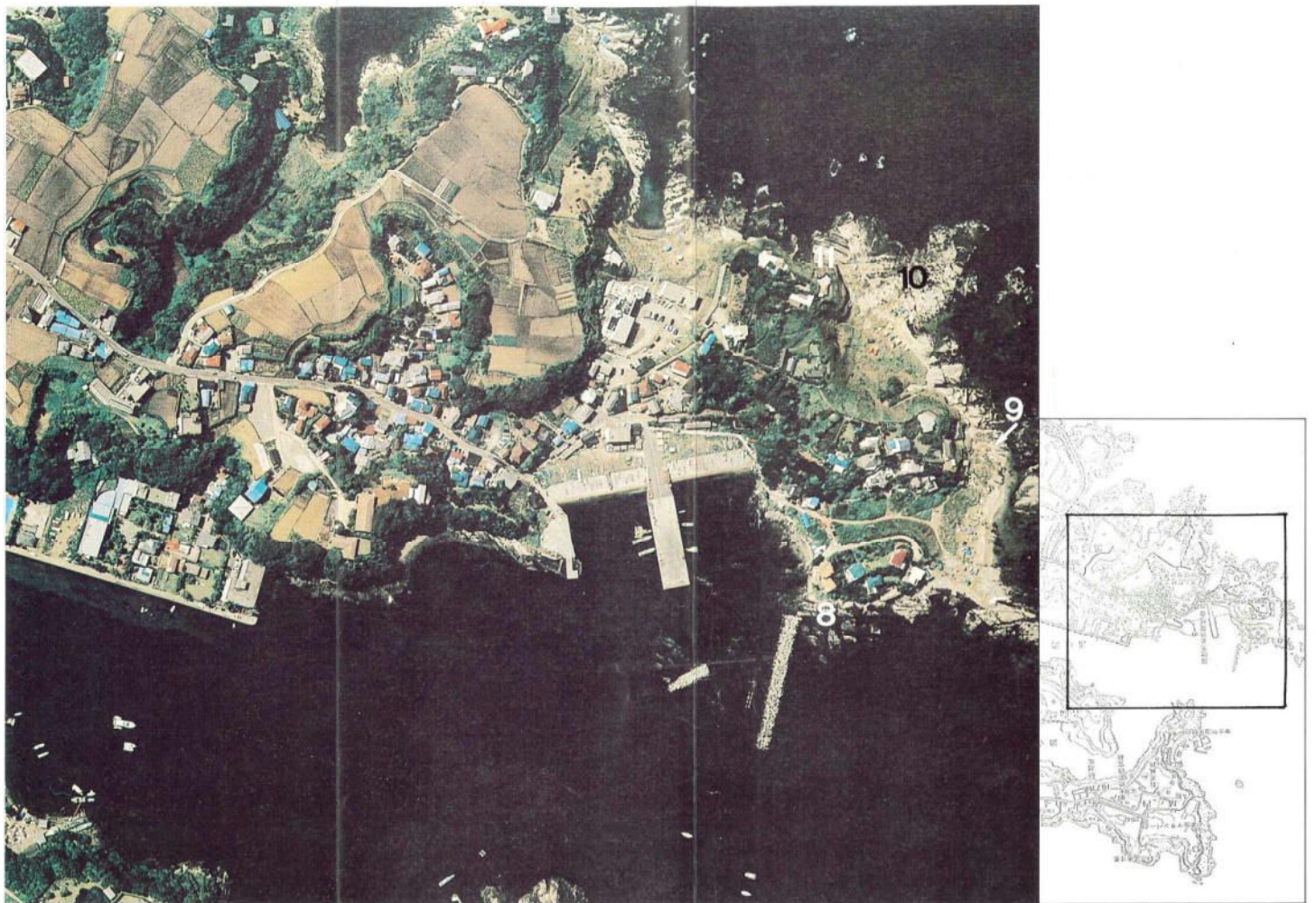
別な言い方をすれば遠い遠い過去からの贈^{おくりもの}り物といえると思います。現在でも私たちの時間の単位では計ったり感じたりすることは、非常に^{むずか}難しいことですが、少しずつ少しずつ台地は変化しています。今に生きる^{わたくし}私たちが^{しょうらい}将来に残すことができるものの一つがこの台地です。

皆^{みな}さんが立っている台地のようすについて、知ってほしいと考えた理科の先生方^{みうら ちそう}にお願いして編集したのがこの『三浦の地層』です。

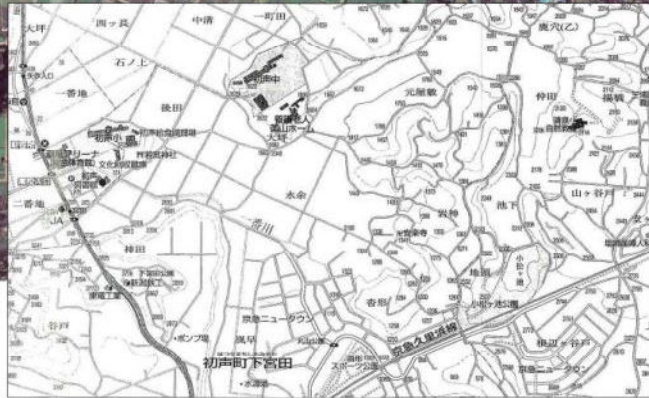
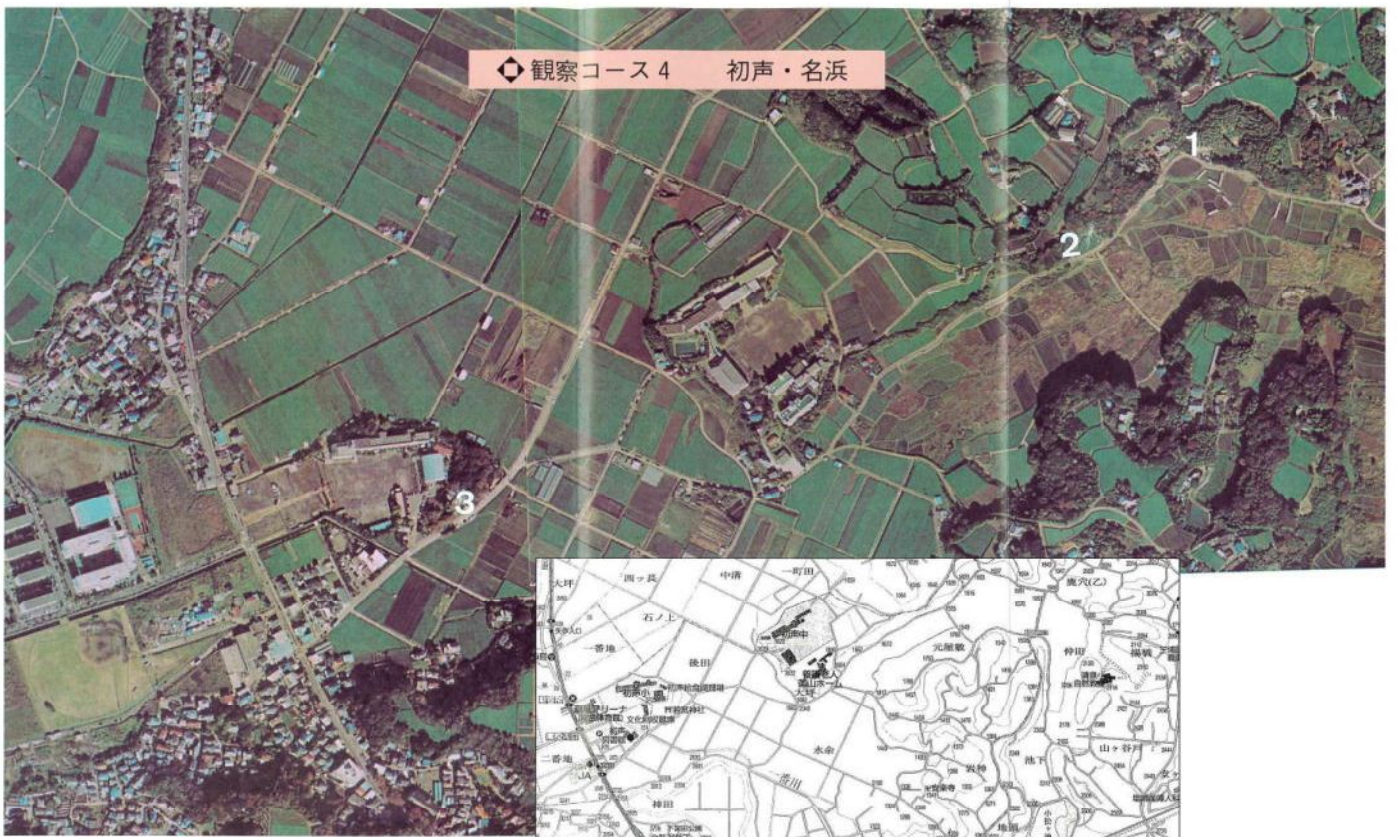
この本によって、一人でも多くの人が^{ちそう}地層に興味を持ち、本を持って現地を調査したり、より^{くわ}詳しい本を読んだりすることがあれば、本当にうれしいことだと思います。

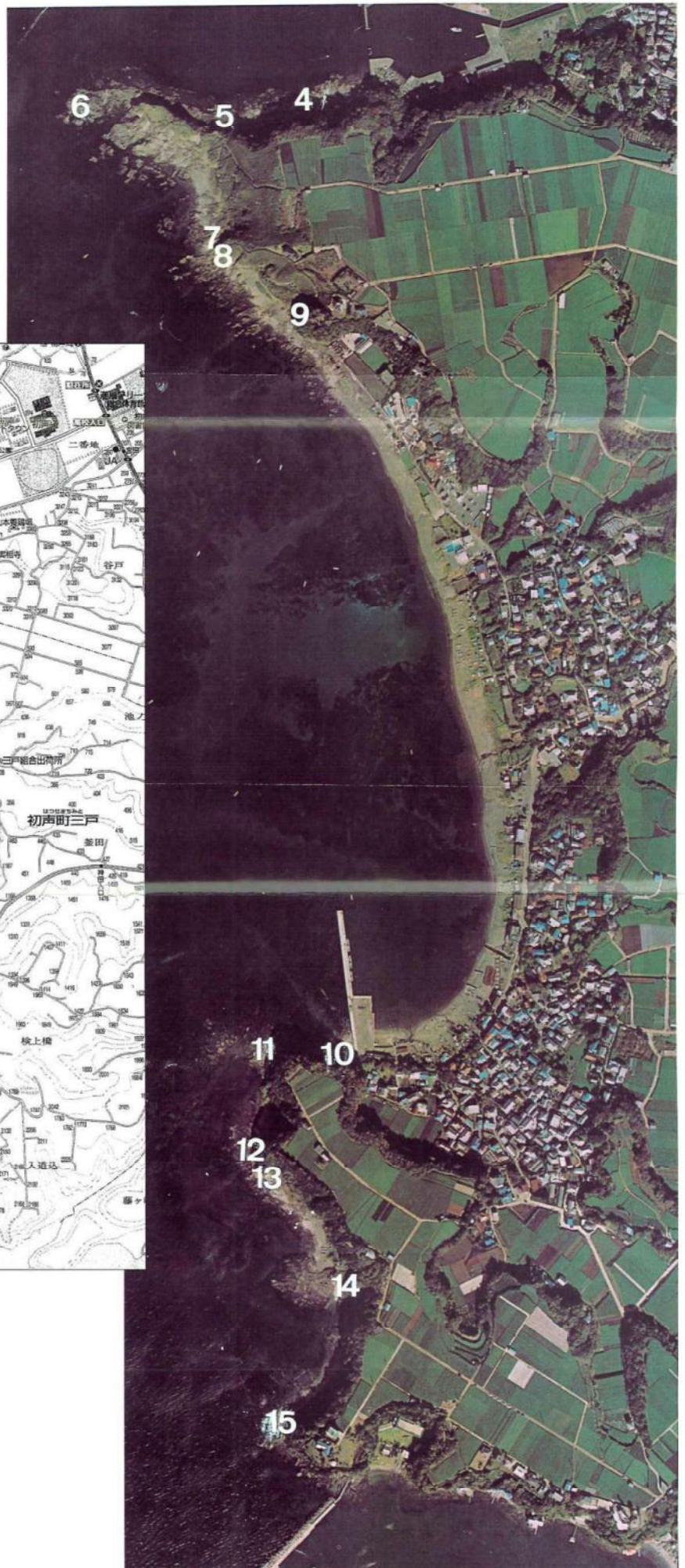
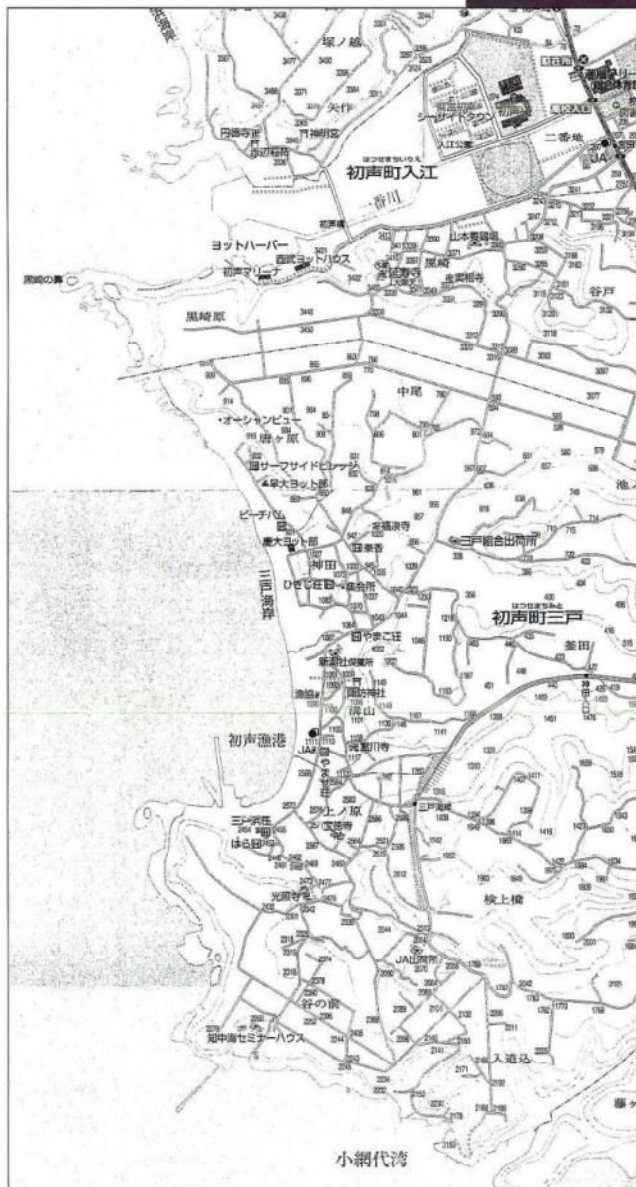






◆ 観察コース 4 初声・名浜





目 次

1 . 三浦半島南部の地形	1 3 6
2 . 海岸段丘形成の成因	1 3 7
3 . 三浦半島南部の地層について	1 3 8
4 . 各地層の特徴	
(1) 三崎層	1 4 0
(2) 油壺層	1 4 1
(3) 初声層	1 4 2
(4) 宮田層	1 4 3
(5) 関東ローム層	1 4 4
5 . 三浦市内の有名な露頭	1 4 6
6 . 三浦市の活断層	1 4 8
7 . 用語解説	1 5 2
8 . 中層観察ガイド	1 5 6
(1) 城ヶ島コース	1 5 7
城ヶ島・コースの解説	1 6 5
(2) 剣崎・雨崎コース	1 7 1
剣崎・雨崎コースの解説	1 8 1
(3) 油壺・諸磯コース	1 8 6
油壺・諸磯コースの解説	1 9 3
(4) 初声・黒崎コース	1 9 6
初声・黒崎コース解説	2 0 4
(5) 南下浦・学校周辺コース	2 1 0
南下浦・学校周辺コースの解説	2 1 4
9 . おわりに	2 1 6